

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

松戸市教育環境に向けた市民アンケート調査 (調査結果速報)

1. 調査概要

調査目的	子どもたちがのびのびと成長することができる、より魅力ある学校づくりに向け、「新しい学校のあり方基本方針」の策定を行うに当たり、その基礎資料とするため、学校のあり方等について、市民の意見や認識、考え方を把握・分析する。				
調査対象	無作為抽出した市民3,000人				
調査期間	令和8年7月9日(木)～令和8年7月24日(金)				
調査数	3,000	有効回答数	1,296 ※	有効回答率	43.2% ※

※ 令和8年7月24日現在

2. 調査結果速報

I. 回答者の属性

Q1 宛名に記載の方の年齢を教えてください。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 未就学児	26	2.0%
2. 小学生(6歳～12歳)	41	3.2%
3. 中学生(12歳～15歳)	22	1.7%
4. 15歳～17歳	18	1.4%
5. 18歳～20代	112	8.6%
6. 30代	157	12.1%
7. 40代	235	18.1%
8. 50代	261	20.1%
9. 60代	212	16.4%
10. 70代以上	208	16.0%
無回答	4	0.3%
全体	1296	100.0%

Q3 あなたが養育する高校生以下のお子様がいれば、教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 未就学児がいる	186	14.4%
2. 小学生がいる	200	15.4%
3. 中学生がいる	113	8.7%
4. 高校生がいる	103	7.9%
5. あてはまるものはいない	851	65.7%
無回答	20	1.5%
全体	1296	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

II. 学校に対する考えについて

Q4 小学校児童のより良い教育環境のために、小学校では1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 複式学級	35	2.7%
2. 1学級	38	2.9%
3. 2～3学級	791	61.0%
4. 4～5学級	379	29.2%
5. それ以上	32	2.5%
無回答	21	1.6%
全体	1296	100.0%

Q5 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 子どもや教職員がお互いをよく知ることができるから	561	43.3%
2. 一人一人に目が行き届きやすいから	566	43.7%
3. 教室や特別教室などの教育施設が余裕をもって使えるから	225	17.4%
4. クラス替えなどにより多様な人間関係が築けるから	789	60.9%
5. 多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になるから	305	23.5%
6. 多くの友達と交流できるから	652	50.3%
7. 多様な考え方や価値観に触れることができるから	501	38.7%
8. 学校行事や集団活動に活気が生じやすいから	538	41.5%
9. PTA活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすいから	110	8.5%
10. その他	41	3.2%
無回答	12	0.9%
全体	1296	100.0%

Q6 小学校では1学級あたりの人数の上限はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 8人以下	7	0.5%
2. 9～18人	122	9.4%
3. 19～28人	811	62.6%
4. 29～35人	348	26.9%
無回答	8	0.6%
全体	1296	100.0%

Q7 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

Q7選択肢	Q6選択肢 1. 8人以下		2. 9～18人		3. 19～28人		4. 29～35人	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. 一人一人に目が行き届きやすいから	4	57.1%	83	68.0%	373	46.0%	35	10.1%
2. 子どもの理解度に応じたきめ細かな指導がしやすいから	2	28.6%	70	57.4%	255	31.4%	24	6.9%
3. 落ち着いた学習環境をつくりやすいから	1	14.3%	56	45.9%	223	27.5%	26	7.5%
4. 様々な学習活動やグループ活動がしやすいから	0	0.0%	24	19.7%	243	30.0%	156	45.0%
5. 子ども同士が学び合い、互いに成長できるから	0	0.0%	48	39.3%	289	35.6%	175	50.4%
6. 集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができるから	0	0.0%	20	16.4%	220	27.1%	171	49.3%
7. 多くの友達と交流できるから	0	0.0%	20	16.4%	221	27.3%	195	56.2%
8. 多様な考え方や価値観に触れることができるから	0	0.0%	28	23.0%	204	25.2%	156	45.0%
9. 協調性や社会性が育ちやすいから	0	0.0%	30	24.6%	263	32.4%	160	46.1%
10. その他	0	0.0%	2	1.6%	10	1.2%	4	1.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	7	100.0%	122	100.0%	811	100.0%	347	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q8 中学校生徒のより良い教育環境のために、中学校では1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 1学級	27	2.1%
2. 2～3学級	388	29.9%
3. 4～6学級	805	62.1%
4. それ以上	60	4.6%
無回答	16	1.2%
全体	1296	100.0%

Q9 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

Q8選択肢	1. 1学級	2. 2～3学級	3. 4～6学級	4. それ以上
1. 子どもや教職員がお互いをよく知ることができるから	13 48.1%	154 39.7%	131 16.3%	5 8.3%
2. 一人一人に目が行き届きやすいから	15 55.6%	164 42.3%	123 15.3%	5 8.3%
3. 教室や特別教室などの教育施設が余裕をもって使えるから	3 11.1%	80 20.6%	93 11.6%	3 5.0%
4. クラス替えなどにより多様な人間関係が築けるから	5 18.5%	164 42.3%	439 54.5%	28 46.7%
5. 多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になるから	4 14.8%	88 22.7%	375 46.6%	23 38.3%
6. 多くの友達と交流できるから	3 11.1%	131 33.8%	411 51.1%	26 43.3%
7. 多様な考え方や価値観に触れることができるから	3 11.1%	112 28.9%	392 48.7%	24 40.0%
8. 学校行事や集団活動に活気が生じやすいから	2 7.4%	103 26.5%	402 49.9%	23 38.3%
9. PTA活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすいから	1 3.7%	19 4.9%	63 7.8%	3 5.0%
10. その他	0 0.0%	1 0.3%	3 0.4%	5 8.3%
無回答	0 0.0%	2 0.5%	0 0.0%	0 0.0%
全体	27 100.0%	388 100.0%	805 100.0%	60 100.0%

Q10 中学校では1学級あたりの人数の上限はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 8人以下	8	0.6%
2. 9～18人	83	6.4%
3. 19～28人	716	55.2%
4. 29～35人	482	37.2%
無回答	7	0.5%
全体	1296	100.0%

Q11 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

Q10選択肢	1. 8人以下	2. 9～18人	3. 19～28人	4. 29～35人
1. 一人一人に目が行き届きやすいから	5 71.4%	55 45.1%	290 35.8%	44 12.7%
2. 子どもの理解度に応じたきめ細かな指導がしやすいから	3 42.9%	50 41.0%	216 26.6%	39 11.2%
3. 落ち着いた学習環境をつくりやすいから	2 28.6%	40 32.8%	192 23.7%	30 8.6%
4. 様々な学習活動やグループ活動がしやすいから	0 0.0%	16 13.1%	239 29.5%	228 65.7%
5. 子ども同士が学び合い、互いに成長できるから	0 0.0%	29 23.8%	262 32.3%	224 64.6%
6. 集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができるから	0 0.0%	13 10.7%	226 27.9%	251 72.3%
7. 多くの友達と交流できるから	0 0.0%	12 9.8%	226 27.9%	275 79.3%
8. 多様な考え方や価値観に触れることができるから	0 0.0%	14 11.5%	220 27.1%	258 74.4%
9. 協調性や社会性が育ちやすいから	0 0.0%	19 15.6%	218 26.9%	234 67.4%
10. その他	0 0.0%	1 0.8%	8 1.0%	6 1.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	3 0.4%	1 0.3%
全体	8 114.3%	83 68.0%	716 88.3%	482 138.9%

Q12 小学校の通学距離は徒歩で何分程度が適切だと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 10分以下(概ね1km以内)	372	28.7%
2. 20分以下(概ね2km以内)	713	55.0%
3. 30分以下(概ね3km以内)	179	13.8%
4. 40分以下(概ね4km以内)	21	1.6%
5. それ以上	3	0.2%
無回答	8	0.6%
全体	1296	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
 確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q13 中学校の通学距離は徒歩で何分程度が適切だと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 10分以下(概ね1km以内)	73	5.6%
2. 20分以下(概ね2km以内)	580	44.8%
3. 30分以下(概ね3km以内)	513	39.6%
4. 40分以下(概ね4km以内)	113	8.7%
5. それ以上	10	0.8%
無回答	7	0.5%
全体	1296	100.0%

Q14 どのような通学路であれば安心して通えると思いますか。(あてはまるもの全てを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 交通量が少ない	699	53.9%
2. 歩道の整備・見通しが良い	1102	85.0%
3. 横断歩道や信号機などの交通安全施設が整備されている	1045	80.6%
4. 人通りや地域の見守りがある	1006	77.6%
5. 複数の児童が利用する	735	56.7%
6. 特にない	11	0.8%
7. その他	30	2.3%
無回答	4	0.3%
全体	1296	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Ⅲ. 松戸市全体の学校のありかたについて

Q15 本市では、より魅力ある学校づくりに向け、学校の規模及び配置の適正化を含めた、新しい学校のあり方について検討を進めています。このような取り組みについてお考えに最も近いものを選びください。(あてはまるもの1つだけ選択)

選択肢	回答数	割合
1. 積極的に進めるべきだ	612	47.2%
2. どちらかといえば進めるべきだ	466	36.0%
3. どちらかといえば進めるべきではない	41	3.2%
4. 進めるべきではない	8	0.6%
5. 分からない	125	9.6%
6. その他	9	0.7%
無回答	35	2.7%
全体	1296	100.0%

Q15-1 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべてを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 子ども同士が学び合える適切な学校規模を確保したいから	564	52.3%
2. 学校間の児童生徒数の偏りを改善したいから	317	29.4%
3. 将来の児童生徒数の変化に計画的に対応する必要があるから	398	36.9%
4. 教職員配置や学校運営を安定させたいから	382	35.4%
5. 校舎の建替えや施設整備とあわせて検討した方がよいから	281	26.1%
6. 教育環境をできるだけ公平にしたいから	405	37.6%
7. 施設維持費なども考慮する必要があるから	194	18.0%
8. 学校の老朽化に対応する必要があるから	265	24.6%
9. その他	14	1.3%
無回答	2	0.2%
全体	1078	100.0%

Q15-2 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべてを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 小規模校には良い教育効果があると思うから	9	18.4%
2. 現在の学校配置に大きな問題を感じていないから	11	22.4%
3. 学校再編や学区変更は子どもの負担が大きいから	23	46.9%
4. 通学距離や通学時間が長くなることが心配だから	18	36.7%
5. 地域コミュニティへの影響が大きいから	7	14.3%
6. 教育内容の充実を優先すべきだから	7	14.3%
7. 住民や保護者との十分な合意形成が必要だから	9	18.4%
8. 将来の人口動向を見極めてから判断すべきだから	9	18.4%
9. 財政コストによる規模の適正化は考慮すべきではないから	6	12.2%
10. その他	2	4.1%
無回答	1	2.0%
全体	49	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q16 近年、多くの自治体で学校の再編が進められています。松戸市において、学校再編を検討する場合、どのような点を特に重視すべきだと思いますか。（あてはまるもの5つを選択）

選択肢	回答数	割合
1. 多様な学びやICT教育など、新しい教育環境への対応	568	43.8%
2. 一定の学校規模（学級数・児童生徒数）の確保	546	42.1%
3. 小規模校の維持（小規模特認校の設置など）	128	9.9%
4. 少人数教育（少人数学級など）の実施	175	13.5%
5. 小中一貫教育の実施	181	14.0%
6. 特別な支援を必要とする児童生徒への配慮	453	35.0%
7. 通学区域の見直し（時間・距離・安全）	574	44.3%
8. 学区の整備（小学校から同じ中学校へ進学しやすい通学区域にすること）	356	27.5%
9. 保護者・地域住民などとの十分な協議	195	15.0%
10. 学校が地域コミュニティの拠点として果たす役割	194	15.0%
11. 避難所など防災拠点としての機能	425	32.8%
12. 学校と公共施設（図書館など）の複合化	262	20.2%
13. 再編で学校が空き施設になった場合の有効活用	327	25.2%
14. 再編を進める学校の優先順位（校舎の老朽化、学校規模、通学環境など）	357	27.5%
15. 地域ごとの状況に応じた柔軟な対応	377	29.1%
16. 市の財政負担や将来の維持管理費	195	15.0%
17. 学校選択制の見直し	188	14.5%
18. スピード感のある対応	244	18.8%
19. その他	26	2.0%
無回答	18	1.4%
全体	1296	100.0%

IV. 常盤平第一小学校の通学区域の変更について

Q17 あなたは、常盤平第一小学校の受け入れ停止に向けた学区変更の検討についてご存じでしたか。（あてはまるもの1つだけ選択）

選択肢	回答数	割合
1. 内容まで知っていた	177	13.7%
2. 聞いたことはあった	428	33.0%
3. 今回初めて知った	677	52.2%
無回答	14	1.1%
全体	1296	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q18 常盤平第一小学校の新入学児童の受け入れ停止に向けた通学区域の変更について、お考えに最も近いものをお選びください。(あてはまるもの1つだけ選択)

選択肢	回答数	割合
1. 積極的に進めるべきだ	418	32.3%
2. どちらかといえば進めるべきだ	457	35.3%
3. どちらかといえば進めるべきではない	68	5.2%
4. 進めるべきではない	29	2.2%
5. 分からない	285	22.0%
6. その他	12	0.9%
無回答	27	2.1%
全体	1296	100.0%

Q18-1 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべて選択)

選択肢	回答数	割合
1. 児童数が少なく、教育環境の維持が難しいから	510	58.3%
2. 一定規模の児童数のいる学校へ就学した方が教育効果が期待できるから	479	54.7%
3. 市全体の教職員配置や学校運営が改善されるから	291	33.3%
4. 市全体の施設の維持管理や更新を効率的に進められるから	223	25.5%
5. 将来の児童数を見据えた対応が必要だから	301	34.4%
6. その他	16	1.8%
無回答	4	0.5%
全体	875	100.0%

Q18-2 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべて選択)

選択肢	回答数	割合
1. 小規模校ならではの教育環境に魅力があるから	23	23.7%
2. 子どもの通学負担が大きくなるから	42	43.3%
3. 地域コミュニティへの影響が大きいから	12	12.4%
4. 今後、児童数が増える可能性があるから	13	13.4%
5. 受け入れ停止ではなく別の方法を検討すべきだから	33	34.0%
6. その他	4	4.1%
無回答	5	5.2%
全体	97	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

V. 今後の進め方について

Q19 地域住民の意見を把握するためには、どのような手法が適切だと思いますか。あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（あてはまるものすべて選択）

選択肢	回答数	割合
1. 地域懇談会（地域の代表者等が参加するもの）	325	25.1%
2. ワークショップ（誰でも参加できるもの）	434	33.5%
3. オープンハウス（パネル展示など気軽に意見を言えるもの）	280	21.6%
4. 説明会（公聴会など）	434	33.5%
5. アンケート	769	59.3%
6. 直接的な参加は望まない	146	11.3%
7. その他	51	3.9%
無回答	32	2.5%
全体	1296	100.0%

Q20 近年、自治体によっては学校の再編とあわせ、学童保育や公民館など、さまざまな機能を有した施設と学校を一体で整備しています。松戸市において、学校施設の複合化を検討する場合、どのような機能の施設と複合化すべきと思いますか。（あてはまるもの全てを選択）

選択肢	回答数	割合
1. スポーツ施設（プール・アリーナ・運動場など）	637	49.2%
2. 集会施設（市民センターなど）	346	26.7%
3. 図書館	654	50.5%
4. ホール・劇場	169	13.0%
5. 保育所・幼稚園・認定こども園	465	35.9%
6. 児童関連施設（放課後児童クラブ・児童館・放課後等デイサービスなど）	723	55.8%
7. 防災施設（避難所、災害用ライフラインなど）	573	44.2%
8. 高齢者福祉施設	307	23.7%
9. 障害者福祉施設	181	14.0%
10. 医療・保健施設（診療所・保健センターなど）	213	16.4%
11. 複合施設は必要ない	45	3.5%
12. その他	18	1.4%
無回答	26	2.0%
全体	1296	100.0%